

2024年

2024年6月5日

北海道地方 5月の天候

札幌管区气象台
気象防災部 予報課

概況

— 暖かい空気に覆われた日が多かったが、たびたび寒気が流入し気温の変動大 —

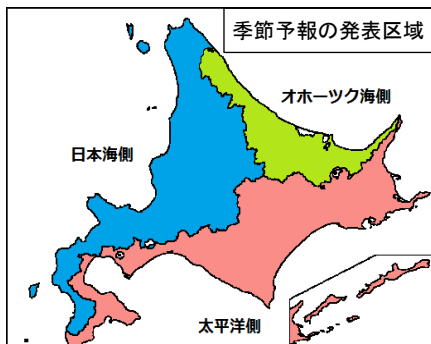
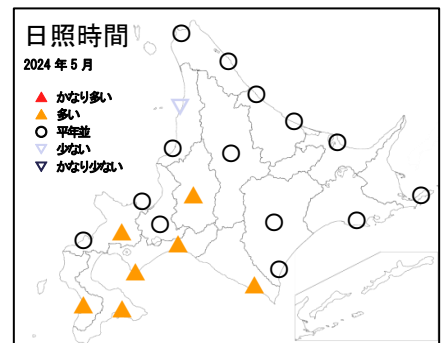
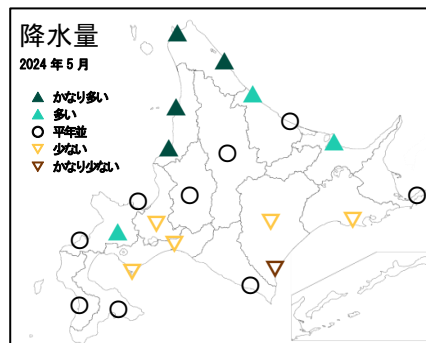
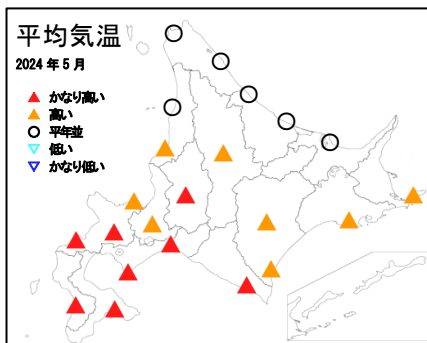
5月は、中旬を中心に暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は太平洋側でかなり高く、日本海側や北海道地方で高かった。一方、低気圧の通過後は、北から寒気が流れ込んだ日もあったため、オホーツク海側で平年並となった。降水量は、低気圧の影響を受けやすかった日本海側とオホーツク海側で多くなったが、太平洋側では少なかった。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間は多かった。降水量は太平洋側で少なかったが、6日から7日にかけて北海道付近を通過した低気圧により、まとまった雨が降ったため、オホーツク海側では多かった。気温は、暖かい空気に覆われた時期もあったが、北から寒気が流れ込んだ影響によりオホーツク海側で低かった。なお、7日21時に稚内の上空1500m付近で氷点下5.1℃を観測するなど、7日から8日にかけては4月上旬並の寒気が入り、オホーツク海側を中心に雪が降って積雪状態となった所もあった。

中旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変わったが、高気圧の圏内となった日が多かったため、日照時間は多かった。また、降水量はオホーツク海側で少なかったが、低気圧や前線の影響を受けやすかった日本海側では多かった。気温は、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、かなり高かった。特に、日本海側と太平洋側及び北海道地方では旬平均気温の平年差が、1946年の統計開始以降、5月中旬として高い方から第1位の記録となった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響により、曇りや雨の日が多かった。このため、降水量は日本海側と北海道地方で多く、オホーツク海側でかなり多かった。また、日照時間は北海道地方で少なく、日本海側とオホーツク海側でかなり少なかった。気温は、南から暖かい空気が流れ込んだ日もあったが、北から寒気の影響を受けた日が多かったため、日本海側で低かった。なお、25日には寒気の影響により、オホーツク海側を中心に峠や山間部で雪の降った所があった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.2	+	106	0	104	0
日本海側	+0.9	+	126	+	105	0
オホーツク海側	+0.7	0	124	+	98	0
太平洋側	+1.8	++	71	-	106	0

旬の統計値(地域平均)

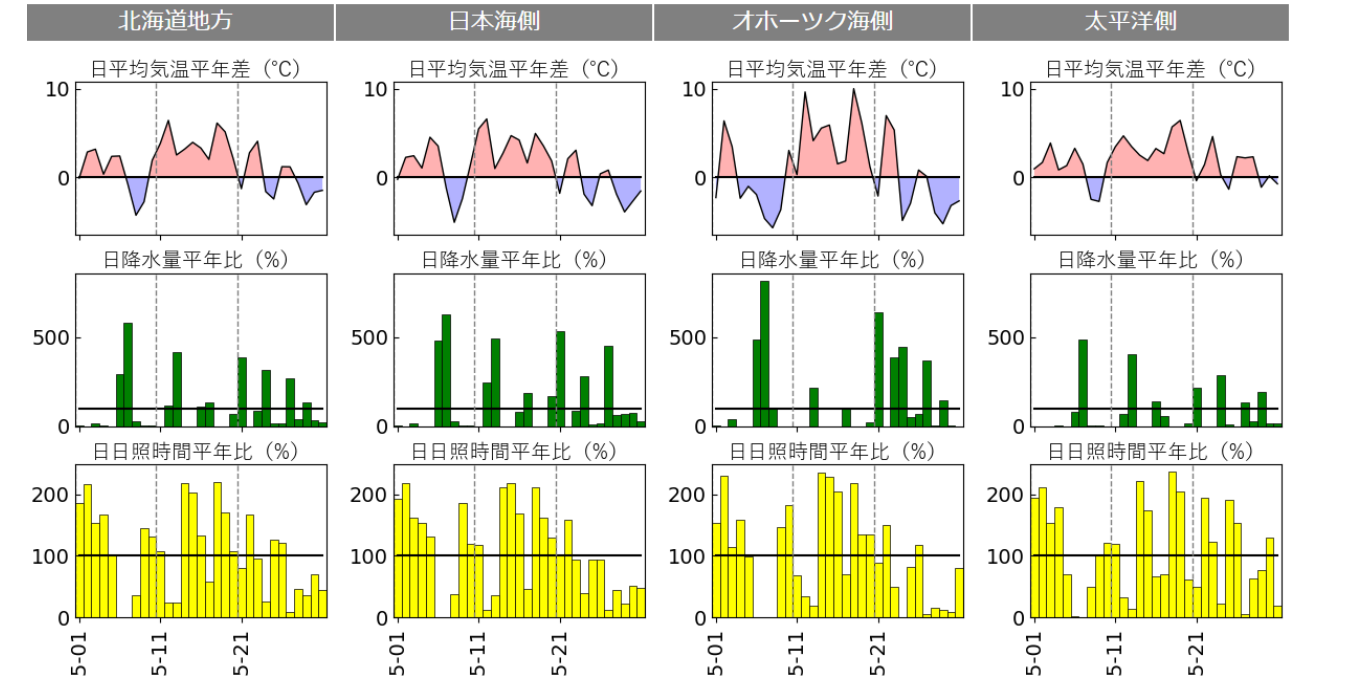
上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.4	0	95	0	116	+
日本海側	+0.6	0	110	0	121	+
オホーツク海側	-0.9	-	141	+	112	0
太平洋側	+1.0	0	53	-	111	0

中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+3.8	++	92	0	126	+
日本海側	+3.6	++	123	+	131	+
オホーツク海側	+4.5	++	33	-	132	+
太平洋側	+3.7	++	82	0	116	+

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.4	0	133	+	74	-
日本海側	-1.1	-	150	+	68	--
オホーツク海側	-1.2	0	196	++	54	--
太平洋側	+0.9	+	81	0	92	0

注)・数値は、地域内の气象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
札幌	14.2	+1.2	+	40.0	72	－	214.6	107	0
稚内	9.3	+0.2	0	136.0	200	++	183.3	101	0
北見枝幸	10.0	+0.9	0	110.5	160	++	175.5	104	0
旭川	13.2	+0.9	+	61.0	92	0	195.1	99	0
留萌	11.8	+0.7	+	106.5	178	++	184.3	92	0
羽幌	11.5	+0.3	0	143.5	199	++	182.6	90	－
岩見沢	13.4	+1.3	++	72.0	86	0	213.9	109	+
倶知安	12.4	+1.2	++	95.0	125	+	219.8	116	+
小樽	13.2	+1.1	+	52.5	98	0	201.2	100	0
寿都	12.9	+1.4	++	65.0	99	0	213.3	110	0
網走	10.3	+0.5	0	80.5	126	+	174.3	93	0
紋別	10.1	+0.5	0	47.5	81	0	171.8	96	0
雄武	9.9	+0.9	0	78.5	128	+	170.9	97	0
釧路	9.9	+1.3	+	57.0	49	－	175.1	99	0
根室	9.4	+1.7	+	84.0	87	0	160.6	94	0
帯広	13.2	+1.6	+	44.5	53	－	197.7	105	0
広尾	11.7	+1.9	+	44.0	27	－－	162.1	94	0
室蘭	12.8	+2.1	++	70.5	65	－	228.8	117	+
苫小牧	12.0	+2.0	++	106.5	81	－	195.7	114	+
浦河	12.0	+2.3	++	113.0	90	0	211.2	113	+
函館	14.0	+1.7	++	105.5	119	0	222.5	112	+
江差	13.4	+1.1	++	105.0	107	0	219.3	122	+

注）・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「 ） 」付きの値は欠測を含む。「 ｝ 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
5月	月平均気温の高い方から	第1位	苫小牧	12.0℃	+2.0℃	11.9℃(2016)	1942
			浦河	12.0℃	+2.3℃	11.7℃(2016)	1927
		第2位	室蘭	12.8℃	+2.1℃	12.9℃(2019)	1923
		第3位	江差	13.4℃	+1.1℃	14.0℃(2019)	1941
			函館	14.0℃	+1.7℃	14.4℃(2019)	1873
			倶知安	12.4℃	+1.2℃	13.5℃(2019)	1944

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 611-0170